

第6回仁井田浄水場更新に係る検討委員会議事要旨

【開催概要】

- 1 開催日時 平成30年8月21日(火)午後4時30分から5時30分まで
- 2 開催場所 秋田市上下水道局川尻庁舎3階中会議室
- 3 出席者

(1) 仁井田浄水場更新に係る検討委員会委員（6名中6名出席）

吉村 和就 委員長
宮田 直幸 副委員長
日野 智 委員
土谷 真人 委員
師岡 悟 委員
金森 久幸 委員

(2) 秋田市上下水道局

工藤喜根男 秋田市上下水道事業管理者
佐々木良徳 総務課長
阿部 桂 浄水課長
菊地 聡 仁井田浄水場更新準備室長
細川 公一 総務課課長補佐

【次第】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
(1) 仁井田浄水場更新基本計画（案）について
- 4 その他
(1) 今後の事業スケジュール
- 5 閉会

【配付資料】

- 1 第6回仁井田浄水場更新に係る検討委員会 次第
- 2 第6回仁井田浄水場更新に係る検討委員会 座席表
- 3 資料1 仁井田浄水場更新基本計画（素案）に関するパブリックコメント等集計結果
- 4 資料2 仁井田浄水場更新基本計画（素案）に関するパブリックコメントおよび市民100人会意見等一覧表
- 5 資料3 仁井田浄水場更新基本計画（案）
- 6 資料4 仁井田浄水場更新基本計画（案）概要版

【質疑内容】

3 議事

(1) 仁井田浄水場更新基本計画（案）について

委員長	特にパブコメ等を受けて素案から案へ修正した部分について、質問等していただきたい。
委員	比較表の経済性は市民のかたから意見があったので詳細の説明を記載する必要があるのだろうが、表5-2では、ケース2と3の違いが読み取れないため、工夫が必要だと思う。 また、イニシャルコストとランニングコストと、そのトータルのライフサイクルコストについて1文で書かれているため分かりにくい。それぞれ区分けして書いた方が分かりやすいと思う。
委員	比較表の経済性の説明が、比較表なのに最も小さいとか、やや大きいとか抽象的なので、もっと簡単に書けないか。
事務局	検討する。
委員	パブリックコメントの結果は公表するのか。
事務局	集計結果および意見一覧表を公表する。
委員	液状化について、数値が1つの基準になるため、体積又は面積で出せるものがあればどこかに書いてほしい。
事務局	検討する。
委員	パブコメについて、危機管理に対する意見は全体の約18%あるが、危機管理というのはこれから起こる可能性のある危険度への対策と、起こった場合にどう対処するかの対応との2つに分かれるので、2つに分けた方が良いかと思う。
事務局	検討する。
委員長	それでは、総評を、各委員から一人ずつお話しいただきたい。

- 委員 更新のコンセプトで、「環境と人にやさしい浄水場」がある。コンセプトで挙げている割には、どれくらい環境負荷を低減できるかについて、具体性が低いと思う。この基本計画の中ではこの程度で良いのかもしれないが。
- 委員長 環境負荷の低減で、どのようなインデックスがあるのか、必要なのか、教えていただきたい。
- 委員 使用電力量にかかるCO₂が1つのインデックスになると思う。太陽光発電が計画に書かれているが、この導入によってどの程度削減できるのか、あるいは施設をコンパクトにするとどれくらい削減できるのか、そういった具体的な数字が出れば良いと思う。ただ、今の時点でそれを出すのは難しいとは理解している。
- 委員長 具体的な仕様が決まってからということか。
- 委員 そうである。
- 委員 全体的にはこれから50年、60年使っていく仁井田浄水場について、給水量が減少していく中の更新で、しかも耐震性能や危機管理機能も新たに付与し、水質も目標値を定め目指していくということで、なかなか難しいことになるかと思うが、決して妥協ではなく、良い選択をしつつこの基本計画になったと思う。この検討委員会で非常に有意義な議論ができたのではないかと思う。
- 委員 概ね良くできたと思う。パブコメを見ると、非常に数が多いという感想を持った。他のパブコメではほとんど意見がなく、水道事業は市民の関心が高いということを改めて感じた。パブコメの内容は、計画に対して賛成、反対というよりは、どうしてこうなったのか知りたい、もっと説明してほしいという意見が多いようなので、これから基本計画をどのように市民のかたにうまく伝えていくか、理解していただくかが大事なことだと思った。
- 委員長 例えば液状化の問題などについて、土木環境工学のシステムから見てどのように考えるか。

委員 液状化対策などは専門ではないが、杭基礎は基本のやり方であり、計画案のとおりしっかりやれば恐らく特に問題ないかと思う。また、パブコメでは、東日本大震災や先日の豪雨災害を見て、浄水場が川沿いにあるため浸水するのではという不安が意見として多く出ているので、しっかり対策するという説明をしなければならないと思う。だが、こういった対策については難しさもあり、対策するほど良いが、逆にコストの問題が出てくる。東日本大震災のときも想定外ということがよく出てきて、それにどこまで対応していくべきなのかは難しいところだと思う。

委員 全体的に言うと、この浄水場の事業、この更新計画というのは、秋田市民や企業にとって欠かすことのできない重要なことだと感じて今まで参加させていただいた。また、適切な維持管理による機能の保全や安全性を考慮した上で、全面更新の計画ができたと感じている。今後、料金収入が伸びていかないという中で、将来の水需要の推移を考慮して、ダウンサイジングできたと思う。最後に、安心して安全でおいしい水道水を提供し続け、市民のかたに信頼され、市民のためにこの水道事業の経営をしていただきたいと思っている。

委員 パブコメで、危機管理に大変多くの意見が寄せられたということで、改めて市民が安全で安定した給水を求めているということが分かった。今回このように基本計画をまとめることができたので、今後、この計画に基づいて浄水場を早期に更新し、現状のリスクを解消して、市民が安全に、安心して水道を使えるようにしたいと感じた。

委員 将来にわたっての浄水場の更新というのは行政にとって大きな事業であり、その更新方法や内容について市民のかたに理解を得ることは必須と思う。

パブコメから、市民のかたは水道に非常に強い関心を持っていると読み取れた。生活に欠かすことのできない水道に対しては、安全で安心でなおかつ常に安定供給してほしいという要望を持っている。また、雄物川の流域にある浄水場の浸水対策については、これに対してどのように考えているのかが行政として問われ

ているのだろうと思う。今後、この計画を実行していく上で、計画で決めた内容の理由も含めて、情報発信を十分に行い、市民のかたと意見を合わせながら進めていただきたいと思います。

内容としては、これまでの5回の検討委員会の中で検討したことについては、将来の水需要や財政負担も考えており、適切だと思っている。

委員長

パブコメを見ると、非常に興味を持っている人と、全く関心がなくて初めて知ったという人がいてあまりに温度差がありすぎるため、情報発信が大事である。浄水場を造るに当たって、なぜ、そしてどれくらい必要なのか、市民のかたに分かる形で広報をお願いしたい。

全体的に基本計画はよく練られている。今後どのような発注方式にするかなどの検討もあるし、議会の承認などもあってこれからが大変だと思うが、頑張ってください。

委員長

その他、事務局又は委員から、今まで第6回やってきて、相対的な、こうあってほしいという要望があれば伺いたい。

委員

これからも大変かと思うが、よろしく願います。

委員

頑張ってください。

以上